

第2回福岡県がん診療連携協議会議事録

日 時	平成20年10月20日（月） 15時00分～16時00分
場 所	九州がんセンター会議室
出席者 35名	別紙出席者名簿のとおり
九州がんセンター (病院長)	<p>1) 開会の挨拶 ただ今より第2回福岡県がん診療連携協議会を開会いたします。</p>
九州がんセンター (一瀬)	<p>2) 各専門部会の現状報告について</p> <p>①地域連携・情報専門部会 8月1日、九州がんセンターにおきまして第1回地域連携パス検討会を開催し、主な5つの点を決定いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県における5大癌（肺癌、乳癌、胃癌、大腸癌、肝癌）の地域連携パスを作成する。 ・九州がんセンターの担当者をリーダーに、各腫瘍毎の地域連携パスの案を作成する。 ・案をもとに11月7日に第2回地域連携パス検討会を開催する。 ・案を各ブロックに持ち帰り検討する。 ・21年1月23日の第3回がん医療地域連携研究会で全体会議を行う。
九州がんセンター（藤）	<p>厚労省の全国で運用できる地域連携クリティカルパス開発の班員になっています。地域連携パスをうまく運用するためには、各拠点病院でばらばらに作成するのではなく、県内で統一したものを作成しないといけない。そのために医師会、九大、県と当院等でがん診療連携運営委員会を立ち上げました。まず医師会の先生方にアンケート調査をお願いし県の実態を把握したいと考えています。問題としては拠点病院と医師会の先生方だけでは全体の半分位にしかならないので、それ以外の方には別にアンケートをしないといけないと思われま。とりあえず拠点病院、医師会でネットワークを構築し、それ以外の中核病院ともネットワークを徐々に広げて行き、県内統一の地域連携パスを作成していきたいと思ひます。</p>
九州がんセンター (岡村)	<p>②がん登録専門部会 9月3日に九州がんセンターにて第1回がん登録専門部会を開催いたしました。具体的な内容につきましては、九大の研修会の方でやっていただいているので、今回は「院内がん登録の現状と今後について」ということで国立がんセンターがん対策情報センターの西本先生に講演をお願いして、その後討論を行いました。初回ですので委員等の決定が中心で、各病院の担当者名簿を作成しています。</p> <p>がん登録に関しては、研修は九大でお願いしているので、実務（登録情報）の分析、評価が中心になると思います。登録情報の精度管理は国立がんセンターにお願いすることになると思いますが、その前に各病院でも一度精度管理を行ってもらうようお願いはしてあります。登録情報の分析、評価には精度管理が重要でありますので、各病院の担当者については十分な研修を受けていただきますようお願いいたします。</p> <p>院内がん登録を行うためには委員会を設置し、運用するための規程を作成する必要があると思いますので、各病院で検討して下さい。</p> <p>次回はまだ予定していませんが、次の協議会の前までにはもう一度開催したいと考えています。</p>

九州大学病院（水元）	<p>拠点病院の院内がん登録だけでは、県全体の4、5割にしかならないので不十分であり、地域がん登録を県、国に要請していきたいと思っています。</p> <p>③研修・教育専門部会 研修・教育専門部会として行っていることが5つあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師のための緩和ケア研修会 ・福岡県コメディカルスタッフがん医療研修会 ・がん看護に関わる看護師育成研修会 ・院内がん登録研修会 ・九州大学病院がんセミナー <p>緩和ケア研修検討会を8月8日に開催し、県全体でどのようなプランにより医師の緩和ケア研修を行えばよいか議論しました。九州大学病院、九州がんセンター、北九州市立医療センター、久留米大学病院の4施設で年度内に医師の緩和ケア研修会を実施する予定です。その他の拠点病院は平成21年10月までに実施すればよいので、先行する緩和ケア研修会を実務者に受けていただいて実施していただければよいのではと議論しました。医師の緩和ケア研修会のスライドは文字も一言一句変えてはいけないとなっていますので、まず拠点病院の先生方に研修者として来ていただいて、病院へ持ち帰り実施してもらえればと考えています。（関係資料は配付済み）</p> <p>コメディカルスタッフ研修会は10月11日に行い、薬物療法をテーマに活発な討論が行われました。続けて11月、12月、1月と各テーマにより行う予定です。</p> <p>がん看護師の育成研修は11月25日から40日間、募集人員20名で実施予定となっています。</p> <p>県内の院内がん登録実務者研修会は現在2回、9月17日と10月15日に実施されていて、11月、12月、1月と今後実施を予定しています。拠点病院には数名の方に参加してもらっていますが、拠点病院でない病院の方（他県）にも参加していただき、院内がん登録への意識づけがなされています。入門グループ、初級グループ、レベルアップグループと3つに別れ行っており、相当なレベルアップに繋がるものと思われる。</p> <p>がん診療連携拠点病院の追加予算要求がありましたので、院内がん登録の普及、啓発事業ということで公募をして内示をもらっています。目的としては拠点病院でない病院での院内がん登録を推進する事業ということです。DPC対象病院でがん診療の実績がある13病院に情報提供をお願いしています。基本的には標準登録の情報ですが、目指すは地域がん登録の基盤作りですので、それに必要な情報を取りまとめたいと思います。院内がん登録をやったことのない病院に学んでいただいて、院内がん登録を県内で普及させようと思っています。地域がん登録なくしては情報が得られず、地域の医療政策は立てられないはずなので、院内がん登録をさらに一歩進めていきたいと思っています。</p> <p>九州大学病院がんセミナーの実施状況は別紙のとおりです。</p>
九州がんセンター（病院長）	<p>福岡県の登録状況を見ると、拠点病院はもちろんですが拠点病院以外にも腫瘍登録実務者はおられるのですか。継続性がなく辞められた場合にはトラブルになるのではないかと心配です。</p>
九州大学病院（水元）	<p>その調査も行いました。基本は登録実務者が行うわけですが、内容は医師がチェックをかけないと精度が高いものはできません。双方で連携をして行わないといけないと思います。2、3人辞めても大丈夫なように多くの人を育てなければいけないと思います。</p>
九州がんセンター（岡村）	<p>DPCの条件に入退院患者1,000名あたりに1人の診療情報管理士が必要であるとあったと思うのですが、どこの病院も守られているのですか。指定要件ではなく要望事項なのですか。</p>
九州大学病院（水元）	<p>診療情報管理士には指定要件があったと思いますが、腫瘍登録実務者には指定要件はなかったと思います。当院はDPC管理で8名、がん登録で2、3名います。まずは診療情報管理士で更に腫瘍登録実務者の確保が必要だと思います。</p>
九州医療センター（村中）	<p>診療情報管理士や腫瘍登録実務者のキャリアアップが曖昧としていて、もっとシステムとして行政に求めていかないと実現性と将来性がないと思います。</p>

九州大学病院（水元）	<p>アメリカの院内がん登録に関する講演会があったが、アメリカは腫瘍登録士をたくさん育ててあって、その人達の評価がきちっとされている。</p>
九州がんセンター（岡村）	<p>3) その他 ①セカンドオピニオン実施施設一覧表について がん診療連携協議会の役割として、セカンドオピニオン実施施設の一覧表を作成して公表するようになっていきます。現在作成中ではありますが、できあがればホームページに公表しようと思っています。追加、訂正等のご意見がありましたらお知らせいただければと思います。</p>
福岡大学病院（田村）	<p>県より調査が来ているので、二度手間になるため資料提供してもらって作成すればよいと思います。</p>
福岡県（櫻木）	<p>昨年の拠点病院推薦申請の際に提出していただいた分を情報として持っていますので、情報提供することは可能です。</p>
九州がんセンター（岡村）	<p>県との協議も必要ですが、協議会のホームページに掲載したいと考えています。各拠点病院にも掲載してよいのではないかと思います。県としてはいかがでしょうか。</p>
福岡県（櫻木）	<p>医療指導課の方で医療情報ネットの中に情報として掲載をお願いすることはあるかもしれません。県としても拠点病院の情報をリンクすることを考えていますので、今後検討していきたいと思っています。</p>
九州がんセンター（岡村）	<p>みなさんお集まりなので、異存がなければ各拠点病院でセカンドオピニオン実施施設一覧表を掲載するという事で決定してよいでしょうか。 （異存なしにて決定）</p>
福岡県（櫻木）	<p>②連絡事項 がん診療連携拠点病院の実地調査について考えています。国へ10月末現在で現況報告書を提出することになっていきますので、事前に提出をお願いしているところです。その現況報告書をもとに各拠点病院の実地調査をお願いしたいと考えています。内容については別紙のとおりで、指定要件を中心に何項目か聞き取り調査を行いたいと思います。日程については改めて調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
福岡大学病院（田村）	<p>③その他 協議会もそうですが、専門部会やワーキンググループも福岡各地から集まりますので、拠点病院だけでもよろしいのでネットワークを構築してTV会議ができるようなシステムになればと思います。</p>
九州がんセンター（病院長）	<p>福岡県の会議をどうするかということですが、費用のこともや運用のことありますし、県との相談も必要なことなので即答はできませんが、要望として受けて今後検討していきたいと思っています。</p>
九州がんセンター（病院長）	<p>3) 閉会の挨拶 これをもちまして第2回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p>